まれました。

による講演が行われ、

また、テレ 第二部

,ビ・スポーツキャスターとして幅広く活躍中の舞の海秀平氏

新弟子検査当時の苦労話、

現役中の取り組みや

野の

以い

子:

元大相撲力士で現在はNHK大相撲の解説者とし

は、



# 第22回

# 栃 民 福 祉 **(7)**

栃木県総合文化セン平成28年8月26日 夕 1 X イン ホ 1

める機会とするため、 民全体が福祉について考え、 部の式典では、 障害者関係で27名の皆さまが表彰を受けら 第22回栃木県民福祉のつどい」 参加者が自らの活動 0 意 が 欲 開 を より 催

対戦力士のエピソードなどユーモアあふれる話題に会場が笑いにつつ

# 第125号

一般財団法人

宇都宮市若草1丁目10番6号 とちぎ福祉プラザ2階

**発行人** 麦 倉 仁 E TEL 028-624-8408 FAX 028-624-8418

:害自立更生者

足 宇

市市市市市

で

栃

木県知事

表彰

更生援護功労者

都

宮

セセ ツっ

# 発 行 所

栃木県身体障害者福祉会連合会

麦倉

### 障 :害者社会参加 栃 利 田 田 市 市 市 促進功労 白し宮み北き丸ま興き し

# 障害者支援功労

ル

都 宫 市

宇

井い部へ向き山ま野の 

澤市邊水澤市藤ヶ川市

洋゚チ゚政ホ う つ 子で登る一方力が夫お

足 足

利 利

市市市市

藤<sup>à</sup> 渡<sup>t</sup> 生<sup>t</sup> 武<sup>t</sup> 長<sup>t</sup> た と 合が

大

 $\blacksquare$  $\blacksquare$ 

原 原

# 那須烏 那須塩原

Ш

市 市

 $\blacksquare$ 

大

 $\blacksquare$ 

原

川៓៓坂ヶ屋ヶ沢ヶ村ヶ上៓៓川៓៓川៓៓田ఙ

トと光ご留と八は秀ひった。

# 民

森も美み弘♡

、 は 津っ っっ っ





(敬称

略

けることのできる地域社会づくりを目安心して、また、誇りを持って住み続 齢者の健康と生きがいづくりの推 境づくりの推進」「人と地域の輪を 指し「子どもを健やかに生み育てる お互いに支え合い、 らす全ての人々が一人ひとり自立し、 私たちは、ふるさと「とちぎ」で ひとり親家庭への自立支援」「 助け合いながら 進 高広環

きる豊かな福祉社会の実現に努めるこ する認識と理解を一層深め、 る認識と理解を一層深め、ともに生!係者が一致協力して県民の福祉に対

平成28年8月26日 栃木県民福祉のつどい参加者一







大

 $\blacksquare$ 

原

市

源海塩原-

市

珂

Ш

# 自立更生者 宇

都

民間福祉活動への参加と協力の推進」

障害者の自立支援と社会参加の

|共同募金やボランティアなどの||者の自立支援と社会参加の促

こに集う私たちをはじめ、

積極的に取り組みます。

そして、こ 本県の福祉

栃身協会長表彰

沼 野 宫 市 市市市

川 が 大 ま 五 そ 小 ま 大 ま 浦 う 小 また カーラ 自 そ 河 か しゅ あっ 月 と 曽 そ 河 か しゅ 塚 か 女 な 戸 と 原 ら 沼 ま 野の ク< カゥ ふず要は和か カじょう。 ネね ネ<sub>ね た わ</sub>じぃ ぅ ¸¸ ニぃ子z正ピ済ゼ江ぇニぃ良ぃ

# ご協力ありがとうございました 熊本地震支援金

上三 大 那 那 塩 壬 芳 小山市身体障害者福祉会連合会 鹿 佐 足利市身体障害者福祉会連合会 宇都宮市障害者福祉会連合会 下 真  $\Box$ 栃 沼市  $\square$ 野 生 光市身体障 木市身体障害者福祉会連合会 珂 谷 賀 野 出 須 JII 原市 市 ||⊞J ⊞J ⊞J 市 ШТ 市 身体障害者親交福祉 ⊞J ⊞J 身体障がい 身 身 身 身 身 身体 身 身 体 体 体 体 体 体 体 体 がい 障 障 障 障 障 障 障 障 障 害 害 害 害 害 害 害 : 書 害 福 者 者 者 者 者 者 者 者 者 者福祉 祉連 福 福 福 福 福 福 福 福 福 祉 祉 祉 祉 祉 祉 祉 合会 祉 祉 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 様 様 様 様 様 様 様 様 様 様 様 様 様 様 様 様

げますとともに、 ますことを心からお祈り申し上げます。 被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上 一日も早く復旧・復興され

> ございました。 対する支援金につきましては、 持ちをお寄せいただきまして誠にありがとう 県内16の福祉会の皆さまより温かいお気 上記のとお

れました支援金は、 ご報告申し上げます 本部宛てに送金させていただきましたことを 計額405、370円を日身連熊本地震対策 5月20日から7月10日までの期間に寄せら 当会拠出金と合わせた合



項を行います。 日身連熊本地震対策本部では次に掲げる事

①県事務局または市町村協会の求めによる 金銭的支援

②支援金の呼びかけ及び受付け (支援金の配分については被災地との検 討のもと決定する

③国や政党等への要請活動

④加盟団体及びJDF等障害関係団体との 連携行動

⑤その他必要な事項

平成28年4月14日から発生した熊本地震に させていただきます。 以下、日身連会報第六七三号から抜粋で紹介 

連会長らが、5月22日から23日の2日間 被災者の声を届けるため、阿部一彦日身 ともに国に対し、被災障害者の方へ必要 身連と連携しながら、中央障害者団体と 呼びかけに努めています。また、熊本県 日身連熊本地震対策本部を20日に立ち上 な被害に見舞われました。日身連では 7を超える地震により、熊本県は、 にわたり、熊本を視察しました。 方等からお話を聞き、熊本県や熊本市 す。そうしたなかで、 な支援が届くよう要請行動も行っていま 4月14日と16日の2度にわたり、震度 被害状況の把握とともに、支援金の 被災された会員の

です。 援対策本部を中心に取り組んでいく予定 りごとを解決する仕組みが求められる 供できなかったり、個々のさまざまな困 すが、 者が現地に入って支援活動を続けていま 東日本大震災と同様、さまざまな支援 熊本県身連からの要望を踏まえ、 諸課題が山積しています。日身連で 人的不足によって支援が十分に提

便利で大切なものである.

だけでなく、

一般の人も利用する

# 平 身体障害者相談号関東甲信越静ブロールの28 年度 員口 研ッ 修り

平成28年7月10日、 新潟市 小木 会

開催されました。 テルラングウッド新潟」において

〈講師〉 「障害者制度改革と 日本身体障害者団体連合会 障害者差別解消法について\_ 常務理事 森 祐司氏

〈講師〉新潟大学教職大学院 新潟市条例について\_

「障害者差別解消法と

長澤 正樹氏

次のとおり感想等が寄せられました。

栃木県からは5名の相談員が参加

講演1では、障害者制度の歴史的

新潟市では理念として、

話し合い

による合意形成、話し合いによる

意義、

障害者制度改革の経緯、障

なった。 く 害のない人と同じスタートライン の取り組みでは、 他県に先がけた新潟市と新潟大学 新潟大学長澤先生の説明がすばら 的に行っている等、 に立つための特別な支援など積極 解り易くとてもよかった。 合理的配慮、 大変参考に

)講演2では、新潟市差別解消条例 事ができる事例であったと感じま ことでより効果的な活動を進める 先生が取りまとめを行ったとのこ 条例ということです。講師の長澤 の意見を聞き、市民の手で作った ありました。成立までに多くの人 の成立過程と内容についての話が 官、学が一体となって進める



リアフリーは障害者のためのもの 今回の研修会で残ったことば 等を理解することができました。 話があり、基本的な考え方や理念 別解消法の理解啓発等についての 害者差別解消法の概要、障害者差

ぐ

よい研修会でした。

# 第 16 回 全国障害者スポーツ大会 "希望郷いわて大会"

え話し合うことが大事という内容 相互理解をすること、当事者を交

### 平成 28 年 10/22 生 ~ 24 用 北上総合運動公園陸上競技場他

平成28年度は岩手県で開催される秋季国体の直後に「第16回全国障害者スポーツ大会」が開催されます。 本大会には、栃木県で身体障害者15名、知的障害者17名の合計32名が代表選手として派遣されます。 各競技会場へは自由にご入場いただけます。是非応援にお出かけください。

# 栃木県派遣選手(身体障害者)

	所 属	氏 名	障害	参加競技	
1	のざわ特別 支援学校	かとう りんか加藤凛香	肢体	陸上競技	
2	のざわ特別 支援学校	ではゃし りんか 林 梨 華	肢体	陸上競技	
3	小 山 市	原 恵 美	聴覚	陸上競技	
4	県立盲学校	きのした あゆむ 木 下 歩	視覚	陸上競技	
5	宇都宮市	まちあい ゆかり 落 合 有佳利	肢体	水泳	
6	真岡市	さいとう やすし 斎 藤 靖	肢体	水泳	
7	宇都宮市	こまざき しげる 駒 崎 茂	肢体	水泳	
8	栃木市	ましまか ひろし	肢体	アーチェリー	

	所	属	氏	名	障害	参加競技	
9	鹿沼	市	しらかわ 白 川	ひっこ 博 子	聴覚	卓	球
10	小山	市	ませた	カッカ 夫	肢体	卓	球
11	下 野	市	ふじぬま アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・	<sup>たかひろ</sup> 貴 大	聴覚	卓	球
12	さくら	市	かの 野	曲利	視覚	卓	球
13	鹿沼	市	いしかゎ 石 川	<sub>もとなか</sub> 元 胤	聴覚	フライング	ディスク
14	宇都宮	含市	まるやま 山	まち子	聴覚	フライング	ディスク
15	のざわ 支 援 st	特別 学校	うすい	しゅうと 柊 人	肢体	フライング	ディスク

〈参照ホームページ〉 http://www.iwate2016.jp/taikai/contact

# 栃木県障害者文化祭 カルフルとちぎ

障害者の自立と文化活動への参加を促進するとともに 交流を通じ、県民の間に広く障害者福祉についての関 心と理解を深めることを目的に開催されます。

自由にご入場いただけます。

お誘い合わせのうえ是非ご来場ください。

- - [開催場所] とちぎ福祉プラザ、わかくさアリーナ

[開催内容] 作品展示、芸能発表、カラオケ大会、

製作品販売、模擬店等

[開催期日] 平成28年10月28日(金) · 29日(土)

間 栃木県障害者文化祭実行委員会事務局(障害福祉課内) (TEL)028-623-3490 (FAX)028-623-3052

# 栃身連女性部主催行事のご案内

## (からくりカレンダー作り)

お好みの絵や写真を貼りつけて作る来年の年間カレンダー「からくりカレンダー」とは、色紙2枚を使うもので、開くと1月~6月、反対から開くと7月~12月が見られる仕掛けです。





[開催日時] 平成28年11月21日(月) 10:00~12:00 [開催場所] とちぎ福祉プラザ2階 第1研修室 [参 加 費] 500円 [申込締切] 平成28年11月5日(土) まで

## 料理教室)

クリスマスやお正月に活用できるおもてなし料理 [開催日時] 平成28年12月19日(月) 9:30~12:30 [開催場所] とちぎ福祉プラザ1階 調理実習室 [参 加 費] 2,000円

[申込締切] 平成28年12月6日(火) まで

# フラワーアレンジメント教室

生花を使ったリース型アレンジ

[開催日時] 平成28年12月19日(月) 13:00~15:00 [開催場所] とちぎ福祉プラザ1階 特別会議室

[参加費] 2,000円

「申込締切] 平成28年12月6日(火) まで

固 栃木県身体障害者福祉会連合会 (TEL)028-624-8408 (FAX)028-624-8418 (E-mail)toti-sin@juno.ocn.ne.jp (HP)http://www.tochishinren.jp



この機関紙は

赤い羽根共同募金配分金により発行しています

# 障害者による書道・写真全国コンテスト

障害をもつ方々の文化・芸術活動の促進と技術の向上、またそれらの活動を通した積極的な自己実現と社会参加の促進を目的に行われています。

## 応募資格

- ① 「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神障害者保健福祉 手帳」のいずれかの交付を受けている方
- ② 難病による障害のある方
- ③ ①または②と同等であると主催者が認めた方 但し、当コンテスト各部門において3回以上入賞されている方は審査の対象外となります。

#### 募集内容

書道部門 硬筆・毛筆 題材は自由

半紙サイズ、硬筆はA4サイズ

写真部門 フリーの部 題材は自由

ポートレートの部 題材は人物 携帯フォトの部 題材は自由

作品サイズ 四ツ切、ワイド四ツ切サイズ デジタルカメラ作品は A 4 サイズも可

応募締切平成28年9月30日(金)

主 催日本障害者リハビリテーション協会

実 施全国障害者総合福祉センター

#### 応募取りまとめ機関・作品送付先

栃木県障害者社会参加推進センター 宇都宮市若草1-10-6 栃木県障害者スポーツセンター内 (TEL•FAX)028-678-4401 E-mail:info@tochi-shinkyo.org

## パソコンボランティア指導者養成研修会

●内容

パソコンボランティアの指導者を目指す者で(障害の有無を問わない)障害者への I C T 活用を目的とした研修を障害別カリキュラムにより実施する。

●対象

以下の条件を満たす方。

- (1)日常的にパソコンでワープロ操作、ホームページ 閲覧、メール通信をしている方
- (2)今後指導者として障害者へのパソコンボランティアの養成に携わる意欲のある方
- ●研修開催地及び日程

通常研修(東京)

平成28年9月24日(土)~9月25日(日)

平成29年2月18日(土)~2月19日(日)

[特別研修] マルチメディアDAISY製作研修(東京) 平成28年12月17日(土)~12月18日(日)

●研修費

資料代 4,000円

※詳細は下記ホームページをご参照ください。 (HP)http://www.jsrpd.jp/ic/pcv/

日本障害者リハビリテーション協会 情報センター パソボラ事務局 (TEL)03-5273-0796(FAX)03-5273-0615 E-mail:pcv@list.jsrpd.jp